平成21年度体育協会表彰 土生さんに功労賞

スポーツで活躍した個人、団体を表彰する、平成21年度洞爺湖町体育協会表彰式が、３月31日ふれ合いセンターで開かれ、土生芳弘さんが、功労賞を受賞しました。

土生さんは、町バレーボール協会の競技部長として協会の発展に尽力。虻田中学校と長和中学校との合同チームで全道ベスト８に輝き、その後、虻田エアリアルの指導を行い、今年度は混成チームで全道大会出場に導きました。

功労賞を受賞した土生芳弘さん

土生さんは「みなさんの協力があればこそで、感謝したい。これを励みに今後もがんばりたい」と受賞の喜びを語りました。

地場産品でまちの活性化図る 企業組合設立に向け検討

洞爺湖地域の特産品の活用をめざす「洞爺湖町地場産品受入れ体制検討小委員会」が、４月５日、情報センター会議室で開かれ、関係団体やホテル、飲食店らが参加して、無償提供されている農業生産法人神内ファーム21のあか毛和牛の供給方法や法人化に向けた準備委員会の設立などが話し合われました。

設立された法人が、地場産品を町内のホテルや飲食店に供給し、ブランド化を図ることで、洞爺湖温泉を積極的にＰＲしていこうとするものです。

あか毛和牛が先行していますが今後、野菜や海産物など豊富な洞爺湖周辺の産品で洞爺湖の食をアピールしていくことにしています。

食でのまちの活性化を話し合う検討委員会

洞爺湖温泉温泉100年を記念した春の洞爺湖観光幕開けイベント「湯上りに乾杯！第13回洞爺湖温泉銘酒まつり（主催洞爺湖銘酒クラブ）」が、４月10日洞爺観光ホテルで開かれ、札幌、室蘭などから約200人の左党が参加して、地場産品と地酒、ワインなどで楽しい一夜を過ごしました。

蔵元と談笑する参加者ら

今年のテーマは、「洞爺湖は酒も食も本物が美味い」で、神内ファームのあか毛和牛100%使用のメンチカツや洞爺湖周辺で作られたトマトジュース、キムチなど、地元の食材が多数提供され好評を博しました。

またここ数年毎回出席していた長崎町長が退任するということで、奥さんとツーショットの似顔絵が、主催者から贈られ、会場から大きな拍手が送られました。

地元食材で銘酒を堪能 第13回洞爺湖銘酒まつり

虻田４区自治会（村上清虎会長）では、独居老人宅玄関に掲げるペナント（三角旗）を作成し、区内34人の対象者に随時設置していくことにしました。

同会では、４月の総会で、独居老人に対し、地域として安否確認する方法がないか話し合い、ペナント作成を決定しました。

朝起きたら自分でペナントを立て、夜になると抜くという方法で、外から一目で、お年寄りが元気に過ごしているかどうか分かることができます。

ふくろうは、森の番人で、幸福を招くといわれていることから、ペナントには、ふくろうのイラストを配し、テントの生地を使うことで、雨や雪にも耐えええるものになっています。

自宅玄関前でペナントを立てる齊藤隆さん

５月末までには、対象者全世帯に設置する予定にしています。

独居老人を地域で守る ペナントの掲示で安否確認